

	指標 → R 9 目標値	R 6 時点 (参考)	R 7 時点 → 状況	評価	備考
数 値 指 標	公共交通（鉄道、路線バス、デマンド型交通、タクシー）の利用者数 → 34,690 千人/年以上	30,276 千人/年	31,395 千人/年 → 未達	計画初年度の R 5 から回復傾向は続いているが、コロナ前までは回復しきっていない。	JR 東日本は R 6 の利用者数 バスの R 7 利用者数は暫定値
	公共交通人口カバー率 → 80%以上	国勢調査(2025年)等を踏まえて算出		—	
	新たな地域交通の導入件数 → 3 案件以上	5 案件	6 案件 → 達成	目標は達成した。今後も引き続き検討を行い、さらなる社会実装を図る。	自動運転：沼津市 乗合タクシー等：熱海市、伊東市 共助型交通：河津町、伊豆市 公共 R S：伊豆の国市
	観光交流客数 → 43,859 千人以上	39,003 千人	39,319 千人 → 未達	計画初年度の R 5 から回復傾向は続いているが、コロナ前までは回復しきっていない。	R 6 時点は R 5、R 7 時点は R 6 の集計数値
	旅行客の利用交通手段のうち公共交通の占める割合 → 35%以上	26.8%	26.4% → 未達	低迷したまま横ばいであり、公共交通での観光需要が低迷している。	
進 捗 管 理 指 標	運転手等の確保に関する取組の数 → 13 案件以上	3 案件	4 案件 → 未達	目標に達していない。 「物流の 2024 年問題」の影響も出てきており、更なる取組を推進する必要がある。	就労イベントへの出展：沼津市 運転士募集の周知支援：熱海市、伊東市 第二種免許取得支援事業費補助金の交付：三島市
	地域住民の利用促進に関する取組の数 → 13 案件以上	9 案件	11 案件 → 未達	目標に達していない。 県全域での小学生向けバス無料イベントを引き続き開催し、気運上昇を図っていく。	バスの乗り方教室等：伊豆の国市、伊豆市、沼津市、伊東市、南伊豆町 回数券等の助成：熱海市、河津町、西伊豆町、下田市、三島市、函南町

公共交通の年間利用者数と計画5年目目標



	年間利用者数(千人)					
	基準	計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目
	R1(2019) 年度	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
合計	35,593	29,765	30,276	31,395	0	0
鉄道合計	20,874	18,115	18,973	19,379	0	0
JR(熱海駅、伊東駅)	6,604	5,759	6,334	6,674	0	0
伊豆急行線	4,609	3,851	4,069	4,193	0	0
伊豆箱根鉄道駿豆線	9,660	8,506	8,570	8,512	0	0
路線バス合計	10,978	8,574	8,215	8,764	0	0
東海自動車	7,545	5,919	5,643	6,276	0	0
伊豆箱根バス	2,595	1,938	1,945	1,876	0	0
富士急シティバス	838	716	626	612	0	0
デマンド型交通合計	4	6	6	6	0	0
沼津市	1.89	4.13	4.26	4.28	0.00	0.00
伊東市	0.53	0.14	0.15	0.22	0.00	0.00
伊豆の国市	1.32	1.85	1.47	1.66	0.00	0.00
三島市	0.00	0.08	0.63	1.31	0.00	0.00
タクシー合計	3,737	3,070	3,083	3,246	0	0